



Infor LN 輸入仕入原価ユーザガイド

重要事項

本書に含まれる資料（あらゆる補足情報を含む）は、Inforの機密及び専有情報に相当し、かつそれを含むものです。

添付を使用するにあたり、使用者は、当該資料（当該資料のあらゆる修正、翻訳または翻案を含む）、すべての著作権、企業秘密、及びそれに関係するすべてのその他権利、権原及び利益はInforが独占所有するものであり、使用者には、別の契約（この別契約の契約条項によって、貴社の当該資料及びすべての関連する補足情報の使用が規定されます）に基づいてInforより貴社に使用許諾されたソフトウェアに関連し、またその使用を促進することのみを目的（以下、「目的」という）として、当該資料を使用するための非独占的権利以外、使用者の閲覧に基づく権利、権原及び利益（すべての修正、翻訳または翻案を含む）は付与されるものではないことを認識し、それに同意するものとします。

更に、同封の資料を使用するにあたり、使用者は、使用者が当該資料を極秘扱いで保管しなければならないこと、そして使用者の当該資料の使用は上述の「目的」に限定されることを認識し、それに同意するものとします。Inforは、本書に含まれる内容に誤りや洩れがないよう細心の注意を払っていますが、本書に含まれる内容が完全なもので、誤植やその他の誤りがなく、使用者の個別の要望を満たすことは保証しません。したがって、Inforは、本書（あらゆる補足情報を含む）の誤りまたは不備により、またはそれに関連して生じたあらゆる個人または団体に対する、あらゆる間接的または直接的損失または損害について、その誤りまたは不備が過失、事故またはその他の理由によるものであるかどうかにかかわらず、一切の責任を負わず、かつそれを放棄するものとします。

使用者の本資料の使用は、米国輸出管理法及びその他に限定しない輸出入の適用法に準拠するものとし、使用者は、本資料及びあらゆる関係資料または補足情報を当該法律に違反して、直接的または間接的に輸出または再輸出してはならず、またこれらの資料を当該法律により禁止されるいかなる目的にも使用してはなりません。

商標確認

ここに示す文字標章及び図形標章は、Infor及び/またはその関連会社ならびに子会社の商標または登録商標、あるいはその両方です。無断複製・転載を禁ず。参照されるすべての他の社名、製品名、商標名またはサービス名は各所有者の登録商標または商標です。

発行情報

文書コード	proclcug (U9675)
リリース	10.5 (10.5)
発行日	2017 年 12 月 21 日

目次

文書情報

第1章 概要.....	7
第2章 設定.....	9
第3章 見積依頼 (RFQ).....	11
第4章 オーダ.....	15
第5章 オーダ入庫.....	19
第6章 輸送オーダ.....	23
第7章 購買スケジュール.....	25
第8章 購買スケジュール入庫.....	27
第9章 事前出荷通知.....	33
第10章 固定額.....	37
第11章 請求書の照合.....	43
付録A 用語集.....	45

索引

文書情報

この文書では、輸入仕入原価を設定して使用する手順を説明します。RFQ での輸入仕入原価の使用、購買オーダーと転送オーダー、オーダー入庫、輸送オーダー、購買スケジュール、スケジュール入庫、ASN、輸入仕入原価の請求書照合についても詳しく説明します。

前提となる知識

本書を読むために LN ソフトウェアの詳しい知識は不要ですが、さまざまなロジスティック LN パッケージおよび財務会計の機能について基本的な知識があると、本書を理解しやすくなります。

本書の概要

次の表に、本書の章を示します。

章番号	章タイトル	内容
第 1 章	概要	輸入仕入原価の概要
第 2 章	設定	輸入仕入原価設定
第 3 章	見積依頼 (RFQ)	見積依頼の輸入仕入原価
第 4 章	オーダー	購買オーダーおよび倉庫移動オーダーの輸入仕入原価
第 5 章	オーダー入庫	購買入庫および入庫の輸入仕入原価
第 6 章	輸送オーダー	輸送オーダーの輸入仕入原価
第 7 章	購買スケジュール	購買スケジュールの輸入仕入原価
第 8 章	購買スケジュール入庫	購買スケジュール入庫の輸入仕入原価
第 9 章	事前出荷通知	事前出荷通知 の輸入仕入原価
第 10 章	固定額	輸入仕入原価の固定額
第 11 章	請求書の照合	輸入仕入原価の請求書の照合

参照

本書は輸入仕入原価の主要な参考として用います。本書で取り扱っていない情報を調べるには、以下の関連資料の最新版を用います。

- 見積依頼 (RFQ) ユーザガイド U9821 JA
見積依頼の手順を理解するために用います。

- 購買オーダユーザガイド U9824 JA
購買オーダの手順を理解するために用います。
- 購買と販売スケジュールユーザガイド U9541 JA
購買スケジュールの手順を理解するために用います。

本書の使い方

本書は、オンラインヘルプトピックから作成されたものです。そのため、他のセクションへの参照は、次のように表示されます。

詳しくは、「概要」を参照してください。参照先のセクションを見つけるには、目次を参照するか、文書の最後にある索引を使用してください。

下線の付いた用語には、用語集の定義へのリンクが設定されています。本書をオンラインで表示する場合は、下線の付いた用語をクリックすると最後にある用語集の定義に移動できます。

コメント

弊社は常に文書の見直しや改善を行っていますが、この文書に関するご意見、ご要望などありましたら、documentation@infor.com にご連絡ください。

送信の際には文書番号およびタイトルを明記してください。情報が具体的であるほど迅速な対応が可能です。

Infor へのお問い合わせ

Infor 製品に関するお問い合わせは、Infor Xtreme Support ポータル www.infor.com/inforxtreme をご利用ください。

製品リリースに関する更新情報は、この Web サイトに掲載いたします。このサイトを定期的にご確認ください。

Infor ドキュメントに関するご質問・ご意見は、documentation@infor.com までご連絡くださいますようお願いいたします。

輸入仕入原価 – 概要

輸入仕入原価は、購買取引にリンクすることができ、倉庫での品目の納入および受領までの調達に関係するすべての原価の合計です。輸入仕入原価には、通常、輸送費、保険費用、関税、および処理費用が含まれます。特定の輸入仕入原価の場合、別個の取引先が関与している可能性があります。輸入仕入原価により、品目の実際の調達費用を知ることができます。

調達プロセスにおける輸入仕入原価

調達プロセス全体で、輸入仕入原価を考慮に入れる必要があります。

- **購買**
輸入仕入原価は、見積依頼 (RFQ)、購買オーダー、倉庫移動オーダー、輸送オーダー、購買スケジュール、およびASNに追加できます。これらの費用はデフォルト値が指定されますが、変更できます。
- **入庫**
入庫プロセスでは、すべての輸入仕入原価が入庫品目の棚卸資産評価額にデフォルトで追加されます。
- **購買請求書処理**
ユーザは、輸入仕入原価の購買請求書の取得、照合、承認、および支払を行うことができます。このため、入庫品目の棚卸資産評価額が更新されます。購買請求書も、商品の入庫前に処理できます。

輸入仕入原価の原価基準

変動輸入仕入原価

数量によっては、次のいずれかの方法を使用して変動輸入仕入原価を計算できます。

- [数量]
- [容積]
- [重量]
- [割合 [%]]
- [輸送管理]
- [距離]
- [付加費用率]

固定輸入仕入原価

固定輸入仕入原価は、[固定額]の方法を使用して計算されます。その場合、次の項目ごとに輸入仕入原価を指定できます。

- 見積依頼入札者 (ヘッダ)
- 見積依頼回答 (ライン)
- 購買オーダーヘッダ
- 購買オーダーライン
- 出荷通知ヘッダ
- 入庫ヘッダ
- 入庫ライン

固定額がヘッダレベルで指定されている場合、この金額はラインに配分されます。

輸入仕入原価設定

輸入仕入原価を購買取引にリンクする前に、マスタデータを定義する必要があります。

購買取引の輸入仕入原価

輸入仕入原価は、見積依頼 (RFQ)、購買オーダー、倉庫移動オーダー、輸送オーダー、購買スケジュール、ASN、および輸入仕入原価ラインを使用する入庫に追加できます。

輸入仕入原価ラインに対しては、次の操作が可能です。

- 輸入仕入原価シナリオに基づいて自動的に生成する
- 輸入仕入原価ラインが最初にリンクされたコピー元からコピーする
- マニュアルで指定または修正する

購買請求書の照合と承認

輸入仕入原価の購買請求書は、正規の請求書と同じように買掛金で取得、登録、および支払を行うことができます。

- 入庫時に、正規の購買ラインおよび輸入仕入原価ラインに請求書入庫ラインが作成されます。
- 輸入仕入原価の購買請求書は、[輸入仕入原価関連請求書]として登録されます。
- 購買番号または梱包票番号に基づいて、購買請求書を輸入仕入原価入庫ラインと照合した後、承認できます。
- 照合は別個に行うことも、範囲ごとに行うこともできます。

輸入仕入原価 – 設定

輸入仕入原価を設定するには:

1. 導入済ソフトウェア構成要素 (tccom0500m000) セッションの [コンセプト (ロジ)] タブで、[輸入仕入原価] チェックボックスがオンになっていることを確認します。
2. 輸入仕入原価パラメータ (tclct0100m000) セッションで、次のフィールドを指定します。
 - [輸入仕入原価の検索日]
 - [輸入仕入原価の再計算]
 - [標準輸入仕入原価の計算方法]
 - [見積依頼に輸入仕入原価を適用]
 - [購買プッシュスケジュールの輸入仕入原価の書込]
 - [バックオーダーの輸入仕入原価 - 基準]
 - [購買オーダーの固定額配分時点]
3. 輸入仕入原価タイプ (tclct0110m000) セッションで、輸入仕入原価タイプを指定します。
4. 輸入仕入原価 (tclct1115m000) セッションで、輸入仕入原価を指定します。
5. 輸入仕入原価分類 (tclct0120m000) セッションで、輸入仕入原価分類を指定します。
6. 輸入仕入原価セット (tclct1100m000) セッションで、輸入仕入原価セットを指定します。
7. 輸入仕入原価セット別シナリオ (tclct1105m000) セッションで、輸入仕入原価シナリオを指定します。

輸入仕入原価 – 見積依頼 (RFQ)

ここでは、輸入仕入原価が見積依頼 (RFQ) との組合せでどのように使用されるかを説明します。

注意

- 輸入仕入原価パラメータ (tclct0100m000) セッションの [見積依頼に輸入仕入原価を適用] チェックボックスによって、輸入仕入原価を見積依頼とリンクできるかどうかが決まります。
- 見積依頼は、見積依頼ヘッダ、見積依頼ライン、見積依頼入札者、見積依頼回答、および見積依頼交渉のオブジェクトで構成されます。輸入仕入原価は、見積依頼入札者、見積依頼回答、および見積依頼交渉のみにリンクできます。

入札者の見積依頼回答を受け取った後でその結果と比較するときに、輸入仕入原価を考慮できます。商品の発注先 (入札者) だけでなく、商品の輸送を担当する運送業者などのサードパーティ発注先も、輸入仕入原価を請求できます。

輸入仕入原価ラインの [購買元取引先] と見積依頼の [入札者] が同じ場合、入札者の輸入仕入原価を適用できます。同じでない場合、サードパーティ輸入仕入原価が適用されます。入札者輸入仕入原価とサードパーティ輸入仕入原価の両方を見積依頼にリンクできます。

入札者輸入仕入原価は見積依頼交渉処理の間に交渉できます。サードパーティ輸入仕入原価は交渉できません。

輸入仕入原価 - 見積依頼入札者

輸入仕入原価を [見積依頼入札者] にリンクするには、次のステップを実行します。

ステップ 1: 見積依頼入札者輸入仕入原価の検索

見積依頼入札者が指定されると、輸入仕入原価セット別シナリオ (tclct1105m100) セッションで、次の内容に基づいて有効輸入仕入原価セットが検索されます。

- [輸入仕入原価の検索日]。輸入仕入原価パラメータ (tclct0100m000) セッションで指定されている場合。
- [使用対象] フィールド。[オーダヘッダ] に設定されている必要がある。
- [見積依頼入札者] 検索フィールド。輸入仕入原価シナリオの検索属性に一致している必要がある。
- [優先順位]

ステップ 2: 見積依頼入札者への輸入仕入原価のリンク

輸入仕入原価セットが特定されると、輸入仕入原価は輸入仕入原価ライン (tclct2100m000) セッションに保存されます。このセッションは、見積依頼入札者 (tdpur1505m000) セッションで見積依頼入札者にリンクされます。これらの見積依頼入札者の輸入仕入原価ラインでは、[輸入仕入原価ライン発生元] は [マスタデータ] に設定されます。

ステップ 3: 輸入仕入原価ラインの更新

必要に応じて、取得した輸入仕入原価ラインをマニュアルで更新したり、追加または削除したりすることができます。これは、見積依頼入札者に [受入済] 回答または [処理済] 回答が存在しない場合のみ該当します。見積依頼入札者の輸入仕入原価を更新すると、関連する見積依頼回答の輸入仕入原価と同期されます。

注意

- 見積依頼入札者には、数量、価格、金額データはありません。そのため、見積依頼入札者の輸入仕入原価額は計算されません。
- 見積依頼入札者の輸入仕入原価を取得するには、見積依頼入札者 (tdpur1505m000) セッションの [輸入仕入原価分類] フィールドで指定できます。

輸入仕入原価 - 見積依頼回答

見積依頼回答が生成されて、輸入仕入原価が自動的に取得されます。回答ラインの状況が [回答済] または [交渉中] のときに輸入仕入原価が取得されます。

[見積依頼回答] の輸入仕入原価には次の処理が行われます。

- 見積依頼入札者から同期される
- 見積依頼入札者から配分されるこれは、輸入仕入原価ライン (tclct2100m000) セッションで、[計算方法] フィールドが [固定額] に設定され、[固定額レベル] が [オーダーヘッダ]、[出荷通知]、または [在庫ヘッダ] である輸入仕入原価に適用されます。配分されるラインは交渉不可能であり、見積依頼回答上で更新できません。
- デフォルト値がマスタデータから取得される
輸入仕入原価セット別シナリオ (tclct1105m100) セッションで、次の内容に基づいて有効 輸入仕入原価セット が検索されます。
 - [輸入仕入原価の検索日]。輸入仕入原価パラメータ (tclct0100m000) セッションで指定されている場合。
 - [使用対象] フィールド。[オーダーライン] または [スケジュールおよびオーダーライン] に設定されている必要があります。
 - [見積依頼回答] 検索フィールド。 輸入仕入原価シナリオ の検索属性に一致している必要がある。
 - [優先順位]
同じ輸入仕入原価を 2 回作成することを防ぐため、同期された輸入仕入原価はスキップされます。

輸入仕入原価セットが見つかり、輸入仕入原価が輸入仕入原価ライン (tclct2100m000) セッションに保存されます。このセッションは、見積依頼回答 (tdpur1506m000) セッションで見積依頼回答にリンクされます。これらの見積依頼回答の輸入仕入原価ラインでは、[輸入仕入原価ライン発生元] は [見積依頼入札者] または [マスタデータ] に設定されます。

輸入仕入原価ラインを更新、追加、または削除できます。見積依頼交渉 (tdpur1606m000) セッションで回答ラインの見積依頼交渉が利用可能になると、回答ラインの輸入仕入原価は更新できなくなります。LN によって、最後の交渉ラインの輸入仕入原価が回答ラインと同期されます。

注意

見積依頼回答 (tdpur1506m000) セッションの設定は次のとおりです。

- [輸入仕入原価分類] フィールドを指定して、見積依頼回答の特定の輸入仕入原価を取得します。
- リンクされている輸入仕入原価に入札者輸入仕入原価とサードパーティ輸入仕入原価を個別に表示できます。

輸入仕入原価 - 見積依頼交渉

見積依頼交渉は、入札者の回答について交渉するために使用できます。最初の交渉ラインを指定すると、[見積依頼回答] の輸入仕入原価が [見積依頼交渉] にコピーされます。配分される輸入仕入原価ラインは表示されません。ラインが交渉不可能だからです。

見積依頼交渉には、それぞれの輸入仕入原価ラインにリンクされている、入札者の回答と購買担当の対案が含まれます。

見積依頼交渉が確認済でなければ、輸入仕入原価ラインを更新、追加、または削除できます。最後の見積依頼交渉の輸入仕入原価を更新すると、見積依頼回答の輸入仕入原価と同期されます。

見積依頼交渉ラインをコピーすると、回答と対案の両方の輸入仕入原価がコピーされます。

注意

見積依頼交渉 (tdpur1606m000) セッションおよび見積依頼交渉 (tdpur1109m000) セッションで、入札者の輸入仕入原価とサードパーティの輸入仕入原価を個別に表示できます。入札者の輸入仕入原価のみが交渉可能です。

見積依頼の輸入仕入原価のメンテナンス

見積依頼入札者、見積依頼回答、見積依頼交渉の検索フィールドが修正されると、輸入仕入原価を再計算できます。輸入仕入原価パラメータ (tclct0100m000) セッションの [輸入仕入原価の再計算] フィールドは、再計算処理を決定する上で使用されます。

見積依頼入札者別輸入仕入原価ライン (tclct2100m600) セッションを使用して、[見積依頼入札者]、[見積依頼回答]、または [見積依頼交渉] の輸入仕入原価ラインをマニュアルで変更、追加、取消、または削除できます。

次の内容に該当する場合は、輸入仕入原価ラインを変更、取消、削除、または追加することはできません。

- [見積依頼入札者]
[見積依頼入札者] に対する [受入済]、[処理済]、または [拒否済] の回答が存在する
- [見積依頼回答]
回答状況が [受入済]、[処理済]、または [拒否済] であるか、[見積依頼回答] に対する見積依頼交渉が存在する
- [見積依頼交渉]
見積依頼交渉が確認済である

見積依頼入札者別輸入仕入原価ライン (tclct2100m600) セッションで輸入仕入原価ラインを変更または取り消して、適切なメニューで [すべてに適用] をクリックすると、このラインに加えられた変更は、[輸入仕入原価コード]、[輸入仕入原価タイプ]、および [購買元取引先] が同じ組合せの見積依頼の他のすべてのラインにも適用されます。新しい輸入仕入原価ラインが追加される場合、輸入仕入原価ラインがまだリンクされていないため、[輸入仕入原価コード]、[輸入仕入原価タイプ]、および [購買元取引先] の組合せが存在しない見積依頼の既存のラインに、この輸入仕入原価ラインを自動的に追加できます。

見積依頼回答の比較

見積依頼ライン (tdpur1502m000) セッション、見積依頼入札者 (tdpur1505m000) セッション、または見積依頼回答 (tdpur1506m000) セッションの適切なメニューで [比較] をクリックして、見積依頼比較回答 (tdpur1600m100) セッションの回答ラインを比較します。回答ラインの状況が、[回答済]、[交渉中]、または [受入済] である必要があります。

次の内容に基づいて比較を実行できます。

- 基準セット
- 価格
- 入札者グループの基準セット
- 入札者グループの価格

すべての比較で輸入仕入原価を考慮できます。

見積依頼回答の変換

回答ラインは、購買オーダー、購買契約、または価格帳に変換できます。

回答ラインが購買オーダーに変換される場合のみ、輸入仕入原価が変換されます。輸入仕入原価は購買契約と価格帳にリンクされません。つまり、変換中に輸入仕入原価は無視されます。

見積依頼ヘッダで [輸入仕入原価の適用] チェックボックスがオンになっている場合、回答ラインの輸入仕入原価は、変換された購買オーダーにコピーされます。このチェックボックスがオンの場合、ただし回答ラインが輸入仕入原価にリンクされていない場合、購買オーダーの輸入仕入原価が取得されません。このチェックボックスがオフの場合、輸入仕入原価は回答ラインからコピーされません。ただし、購買オーダーには輸入仕入原価のマスタデータからデフォルト値が取得されます。

回答ラインの輸入仕入原価を購買オーダーに変換すると、購買オーダーでは入札者の輸入仕入原価とサードパーティの輸入仕入原価は区別されません。このため、サードパーティの輸入仕入原価をコピーしない場合は、回答ラインを購買オーダーに変換する前に、回答のサードパーティの輸入仕入原価を削除または取消します。

輸入仕入原価 – オーダ

ここでは、輸入仕入原価を購買オーダーおよび倉庫移動オーダーと併せて使用する方法を説明します。

輸入仕入原価 - 購買オーダーおよび倉庫移動オーダー

輸入仕入原価を購買オーダーや倉庫移動オーダーにリンクさせるには、次の手順を実行します。

ステップ 1: オーダヘッダ輸入仕入原価の検索

オーダーラインが作成され保存されると、輸入仕入原価セット別シナリオ (tclct1105m100) セッションで、次に基づいて有効輸入仕入原価セットが検索されます。

- [輸入仕入原価の検索日]。輸入仕入原価パラメータ (tclct0100m000) セッションで指定されている場合。
- [使用対象] フィールド。[オーダーヘッダ] に設定されている必要があります。
- [オーダーヘッダ (検索)] フィールド。輸入仕入原価シナリオの検索属性に一致している必要があります。
- [優先順位]

ステップ 2: オーダヘッダへの輸入仕入原価のリンク

輸入仕入原価セットが見つかり、輸入仕入原価が輸入仕入原価ライン (tclct2100m000) セッションに保存されます。このセッションは、購買オーダー (tdpur4100m000) セッションの購買オーダーヘッダまたは倉庫オーダー (whinh2100m000) セッションの倉庫移動オーダーヘッダにリンクされています。[輸入仕入原価ライン発生元] によって、これらのヘッダ輸入仕入原価ラインの [マスターデータ] が読み取られます。

ステップ 3: 輸入仕入原価ラインの更新

必要に応じて、ユーザは取得した輸入仕入原価ラインをマニュアルで更新したり、追加/削除したりすることができます。

ステップ 4: オーダーライン輸入仕入原価の検索、リンク、および更新

購買または転送オーダーラインを作成する場合には、手順 1 ～ 3 と同様の手順を実行します。

ステップ 5: オーダラインへのオーダヘッダ輸入仕入原価のコピー

ヘッダ輸入仕入原価 (ある場合) は各ラインに割り振られます。

- これを実現する方法として次のものがあります。
 - 配分
輸入仕入原価ライン (tclct2100m000) セッションで、[計算方法] フィールドが [固定額] で、[固定額レベル] が [オーダヘッダ]、[出荷通知]、または [入庫ヘッダ] である場合、ヘッダ輸入仕入原価が各ラインに配分されます。詳細は、次の情報を参照してください: 輸入仕入原価 – 固定額 (ページ 37)
 - 同期
輸入仕入原価ライン (tclct2100m000) セッションで [固定額レベル] が [オーダライン] または [入庫ライン] に設定されている場合は、[計算方法] に基づいて、ヘッダ輸入仕入原価が各ラインと同期されます。
配分または同期が終了すると、輸入仕入原価は、オーダラインにリンクされている輸入仕入原価ライン (tclct2100m000) セッションに保存されます。これらのライン輸入仕入原価ラインの [輸入仕入原価ライン発生元] は [オーダヘッダ] です。

注意

さまざまな輸入仕入原価ラインを同じ購買オーダラインまたは転送オーダラインに自動的にリンクさせることができます。

このような輸入仕入原価ラインは、次に該当するものです。

- 発生元がヘッダであり、同期または配分された輸入仕入原価額が記入されている
- マスタデータ原価セットに基づいて新規に生成されている

輸入仕入原価のメンテナンス

輸入仕入原価パラメータ (tclct0100m000) セッションの [輸入仕入原価の再計算] の設定に応じて、オーダヘッダまたはラインの [検索] フィールドに変更が加えられた場合、新しい輸入仕入原価セットを検索できます。見つかった場合は、発生元が [マスタデータ] の原価ラインが削除され、新しい原価ラインが追加されます。

購買オーダ別輸入仕入原価ライン (tclct2100m300) セッションおよび倉庫オーダ別輸入仕入原価ライン (tclct2100m500) セッションを使用して、特定の購買オーダまたは倉庫移動オーダの輸入仕入原価ラインをマニュアルで変更、追加、取消、または削除することができます。

次の内容に該当する場合は、輸入仕入原価ラインをマニュアルで変更、追加、削除、または取り消すことができます。

- オーダヘッダ
入庫または事前出荷通知はどのオーダラインにもリンクされません。
- オーダライン
入庫または事前出荷通知はオーダラインにリンクされません。

購買オーダ別輸入仕入原価ライン (tclct2100m300) または倉庫オーダ別輸入仕入原価ライン (tclct2100m500) セッションで輸入仕入原価ラインを変更または取り消して、適切なメニューで [すべてに適用] をクリックすると、ラインに加えられた変更は、[輸入仕入原価コード]、[輸入仕入原価タイプ]、および [購買元取引先] の同じ組合せを持つオーダの他のすべてのラインでも処理されます。このことは、ラインを追加した場合にも当てはまります。オーダラインの新しい輸入仕入原価ラインが追加された場合、この輸入仕入原価ラインを、輸入仕入原価ラインがまだリンクされておらず、そのため、[輸入仕入原価コード]、[輸入仕入原価タイプ]、および [購買元取引先] の組合せが存在しない他のすべてのオーダラインに自動的に追加できます。

輸入仕入原価および統合

承認の前に、いくつかの購買オーダーおよびオーダーラインを 1 つの購買オーダーとして統合することができます。輸入仕入原価ラインは、統合処理の間のみ購買オーダーまたはオーダーラインにリンクできます。[統合] チェックボックスがオンのオーダーおよびオーダーラインは、輸入仕入原価ラインにリンクすることはできません。

輸入仕入原価および購買オーダー承認

購買オーダーが自動的に承認されると、輸入仕入原価パラメータ (tclct0100m000) セッションの [輸入仕入原価の再計算] パラメータに基づいて輸入仕入原価が再計算されます。

購買オーダーをマニュアルで承認し、承認の際に輸入仕入原価を再計算する場合は、購買オーダーの承認 (tdpur4210m100) セッションの [輸入仕入原価の再計算] チェックボックスをオンにします。

承認ルール (tdpur0191m000) セッションで承認ルールに照らし合せて購買オーダーの妥当性チェックを行う必要がある場合は、チェック対象の金額に輸入仕入原価額も含めます。

輸入仕入原価およびバックオーダー

バックオーダーの輸入仕入原価を取得する方法は、輸入仕入原価パラメータ (tclct0100m000) セッションの [バックオーダーの輸入仕入原価 - 基準] フィールドの値に基づきます。

このパラメータでは、バックオーダーの輸入仕入原価をバックオーダーの生成元となるラインからコピーするか、バックオーダーの有効な 輸入仕入原価セット から取得するかを決定します。

入庫が 1 つ以上のオーダーラインにリンクされている場合は再配分が適用されないため、オーダーヘッダに基づく固定額がバックオーダーラインに再配分されません。この場合でも、入庫レベルの固定額は適用されます。

輸入仕入原価ラインの処理

オーダー手順のステップをすべて実行したら、納入済購買オーダーの処理 (tdpur4223m000) セッションで購買オーダーラインを処理できます。オーダーラインの実際入庫にリンクされている輸入仕入原価ラインも処理されます。

輸入仕入原価ライン (tclct2100m000) セッションでは、処理済の輸入仕入原価ラインに次のことが当てはまります。

- [処理済] チェックボックスがオンに設定され、入庫履歴が輸入仕入原価ライン履歴 (tclct2550m000) セッションに書き込まれます。
- 買掛金 (ACP) で輸入仕入原価ラインの照合と承認がすでに終了している場合は、[実際購買原価状況の更新] フィールドが [実際原価更新済] に設定されます。これ以外の場合は、買掛金 (ACP) での照合と承認が終了した後で購買オーダーラインを再処理する必要があります。

輸入仕入原価ライン (tclct2100m000) セッションで [実際購買原価状況の更新] フィールドが [実際原価更新済] で、[請求状況] が [すべて承認済] の場合、輸入仕入原価ラインは完了し、購買オーダーのアーカイブおよび削除 (tdpur4224m000) セッションで削除できます。

輸入仕入原価 – オーダ入庫

ここでは、輸入仕入原価を購買オーダおよび倉庫移動オーダの入庫と組み合わせて使用する方法を説明します。

注意

購買オーダの事前出荷通知も使用する場合は、輸入仕入原価 – 事前出荷通知 (ページ 33)を参照してください。

輸入仕入原価を入庫にリンクさせる方法は、品目の入庫を記録する必要のある場所によって異なります。

品目のタイプ	品目の入庫先	入庫のタイプ
非在庫品目	調達	購買入庫
在庫品目	倉庫管理	倉庫入庫

購買入庫

非在庫品目を入庫するためには、購買入庫 (tdpur4106m000) セッションで入庫を作成しておく必要があります。オーダラインまたは事前出荷通知 (ASN) ラインの輸入仕入原価は、購買入庫に自動的にコピーされます。輸入仕入原価ラインは、購買入庫 (tdpur4106m000) セッションにリンクされている輸入仕入原価ライン (tclct2100m000) セッションに保存されます。一部購買入庫の場合は、オーダ/ASNラインの輸入仕入原価が各入庫ラインに分割されます。具体的な例は、輸入仕入原価 – 固定額 (ページ 37)を参照してください。

確認が終了したら、購買入庫ラインに関して次の内容を変更することができます。

- 数量と最終入庫状況。購買入庫の修正 (tdpur4106s100) セッションを使用します。
- 価格と値引。入庫後の価格および値引の変更 (tdpur4122m000) セッションを使用します。
- 入庫ラインにリンクされている輸入仕入原価ライン。入庫別輸入仕入原価ライン (tclct2100m100) セッションを使用します。

倉庫入庫

在庫品目を入庫するためには、入庫 (whinh3512m000) セッションで入庫を作成しておく必要があります。

入庫ヘッダに記入できるのは、輸入仕入原価ライン (tclct2100m000) セッションで [計算方法] フィールドが [固定額] に設定されており、[固定額レベル] が [入庫ヘッダ] に設定されている輸入仕入原価ラインに限られています。入庫ヘッダを作成すると、特定の入庫にリンクされている最初の購買オーダまたは倉庫移動オーダから固定額がコピーされます。固定額は、入庫にリンクされる最初の**事前出荷通知**からもコピーされます。輸入仕入原価は、入庫 (whinh3512m000) セッションの入庫ヘッダにリンクされている輸入仕入原価ライン (tclct2100m000) セッションに保存されます。

倉庫入庫ライン

入庫ラインを作成すると、ヘッダ輸入仕入原価が各ラインに分割されます。入庫ヘッダに記入できるのは、輸入仕入原価ライン (tclct2100m000) セッションで [計算方法] フィールドが [固定額] に設定されており、[固定額レベル] が [入庫ヘッダ] に設定されている輸入仕入原価ラインに限られています。これにより、ヘッダ輸入仕入原価は常に各入庫ラインに配分されるため、ラインと同期することができません。詳細は、次の情報を参照してください: 輸入仕入原価 – 固定額 (ページ 37)

配分が終了すると、輸入仕入原価は、入庫ライン (whinh3112s000) セッションの入庫ラインにリンクされている輸入仕入原価ライン (tclct2100m000) セッションに保存されます。[輸入仕入原価ライン発生元] に、これらのライン輸入仕入原価ラインの [入庫ヘッダ] が表示されます。

配分された入庫ヘッダ基準の固定額に加え、他のすべての輸入仕入原価ラインがオリジナルラインから入庫ラインにコピーされます。オリジナルラインによって、[オーダライン]、[出荷通知ライン]などの、これらの入庫ライン輸入仕入原価ラインの [輸入仕入原価ライン発生元] が決まります。

入庫が確認されると、輸入仕入原価は入庫ラインから購買入庫 (tdpur4106m000) セッションにコピーされます。この後で、在庫評価の更新と会計取引が開始されます。

確認が終了したら、倉庫入庫ラインに関して次の内容を変更することができます。

- 数量と最終入庫状況。入庫訂正 (whinh3121s000) セッションを使用します。
- 入庫ラインにリンクされている輸入仕入原価ライン。入庫別輸入仕入原価ライン (tclct2100m100) セッションを使用します。

確認の終了後に倉庫入庫の輸入仕入原価に変更が加えられた場合は、その変更内容が購買入庫 (tdpur4106m000) セッションにもコピーされます。

入庫後の輸入仕入原価ラインのメンテナンス

入庫別輸入仕入原価ライン (tclct2100m100) セッションを使用して輸入仕入原価ラインをマニュアルで変更、追加、削除、または取り消す作業は、入庫 (ライン) の確認の前でも後でも行うことができます。

輸入仕入原価ラインのメンテナンスができるのは、入庫レベルで次の内容に該当する場合に限ります。

- 入庫ヘッダ
まだ確認されていない入庫ラインだけが入庫に含まれている
- 入庫ライン
入庫ラインが財務会計でまだ照合されていない

入庫別輸入仕入原価ライン (tclct2100m100) セッションで輸入仕入原価ラインを変更または取り消して、適切なメニューで [すべてに適用] をクリックすると、ラインに加えられた変更は、[輸入仕入原価コード]、[タイプ]、および [購買元取引先] の同じ組合せを持つ同じ入庫の他のすべて

のラインでも処理されます。このことは、入庫ラインを追加した場合にもあてはまります。入庫ラインの新しい輸入仕入原価ラインが追加された場合、この輸入仕入原価ラインを、輸入仕入原価ラインがまだリンクされておらず、そのため、[輸入仕入原価コード]、[タイプ]、および [購買元取引先] の組合せが存在しない他のすべての入庫ラインに自動的に追加できます。

注意

発生元が [入庫ヘッダ] のライン輸入仕入原価は、入庫ヘッダレベルでしか変更できません。

予測外の入庫

入庫された商品のオーダーが倉庫で見つからない場合は、予測外の入庫ラインを作成できます。輸入仕入原価ラインを入庫ラインにリンクさせるには、まずオーダーを予測外の入庫にリンクさせる必要があります。

オーダーラインを予測外の入庫ラインにリンクさせる方法は、次のとおりです。

- 既存のオーダーを予測外の入庫にリンクさせる
輸入仕入原価が該当するオーダーラインからコピーされ、入庫ヘッダから配分されます。
- 予測外の入庫の購買オーダーを生成する
品目 - 購買取引先 (tdipu0110m000) セッションの [予測外倉庫入庫に対するオーダーを生成] チェックボックスがオンの場合に、入庫が確認されると、予測外の入庫の品目と取引先に対して発生元が [入庫] の新しい購買オーダーが生成されます。この後で、輸入仕入原価が自動的に取得され、オーダー、オーダーライン、倉庫入庫、および購買実際入庫レベルでリンクされます。

入庫別輸入仕入原価ライン (tclct2100m100) セッションでの輸入仕入原価の変更、追加、または削除は、入庫の後で行うことができます。

輸入仕入原価 – 輸送オーダー

このトピックでは、輸入仕入原価を購買オーダーまたは倉庫移動オーダーから発生する輸送オーダーと組み合わせてどのように使用するかについて説明します。

輸入仕入輸送費のリンク

購買オーダーまたは倉庫移動オーダーに関して輸送オーダーを生成する必要がある場合、そのオーダーに関する輸送費を取得できます。

輸入仕入輸送費は次のように取得されます。

1. オーダーライン入力中、輸入仕入原価の概算見積のデフォルト値が運送業者レート帳簿に基づいて設定されます。
2. 積荷計画の実現後、輸入仕入原価は詳細な見積輸送費に更新されます。
3. 運送業者請求書の処理後、輸入仕入原価は詳細な実際の輸送費に更新されます。

注意

発送元オーダーラインの輸送オーダーラインが生成されると、輸送は輸入仕入輸送費を決定する際の先頭になります。つまり、輸入仕入輸送費は、輸送オーダーラインから更新されます。

計算処理のフェーズ

ステップ 1: オーダーライン入力時の輸入仕入原価 (輸送費) の概算見積

輸送オーダーの生成が必要なオーダーが作成されると、LN で次の特徴を持つ輸入仕入原価セットが検索されます。

- [使用対象] フィールドが [オーダーヘッダ] または [オーダーライン]
- [計算方法] が [輸送管理]

オーダーヘッダレベルで輸入仕入輸送費ラインがリンクされている場合、このラインの輸入仕入原価額は常に 0 になります。オーダーラインが作成されるとき、この輸入仕入原価ラインがそのオーダーの各ラインにコピーされます。オーダーラインにコピーできる [輸送管理] 方法の輸入仕入原価ラインがない場合、[マスターデータ] からの該当する輸入仕入原価ラインの取得が試みられます。デフォルト設定できる輸入仕入輸送費ラインがまったくない場合は、マニュアルで輸送仕入輸送費ラインを輸入仕入原価ライン (tclct2100m000) セッションで作成できます。

[輸入仕入原価額] はオーダライン入力時に計算され、輸送の原価計算設定と価格の運送業者レート帳簿に基づきます。

ステップ 2: 積荷計画実現後の輸入仕入原価 (輸送費) の詳細な見積

輸送オーダラインが購買オーダラインまたは倉庫移動オーダラインにリンクされ、輸送オーダの積荷計画が実現された後、発生元オーダラインの輸入仕入原価ラインは、輸送オーダラインの詳細な見積輸送費に更新されます。

輸送オーダラインの [積荷計画] チェックボックスがオンの場合、輸入仕入原価ライン (tclct2100m000) セッションの [輸入仕入原価額] に、その輸送オーダラインの出荷の見積輸送費が表示されます。[積荷計画] チェックボックスがオフの場合、輸入仕入輸送費の詳細な見積は出荷原価ではなく、リンクされた輸送オーダクラスの原価に基づきます。

ステップ 3: 運送業者請求後の輸送仕入原価 (輸送費) の詳細な実際額の計算

運送業者から請求書を受領して買掛金で請求を処理すると、輸送オーダラインの [実際原価確定] チェックボックスがオンになります。これによって、輸入仕入原価ラインが運送業者から請求された実際の輸入仕入輸送費に更新されます。

輸入仕入原価ライン (tclct2100m000) セッションの [請求額] フィールド、[輸入仕入原価額] フィールド、[請求状況] フィールドが、輸送オーダラインに基づいて更新されます。詳細な見積輸送費は、その後も輸送オーダラインで確認できます。

注意

入庫ラインに輸入仕入原価ラインが存在する場合、発生元オーダラインとリンクされた入庫ラインの両方の輸入仕入輸送費が更新されます。オリジナルオーダラインに複数の入庫ラインが存在する場合、輸入仕入原価額 (輸送費額) は、リンクされた入庫ラインに配分されます。

輸入仕入原価 – 購買スケジュール

ここでは、輸入仕入原価が購買スケジュールとの組合せでどのように使用されるかを説明します。

注意

- プルスケジュールの場合、輸入仕入原価は[プルコールオフ]スケジュールにのみリンクされ、[プル予測] スケジュールにはリンクされません。
- 輸入仕入原価パラメータ (tclct0100m000) セッションの [購買プッシュスケジュールの輸入仕入原価の書込] チェックボックスによって、輸入仕入原価をプッシュスケジュールにリンクできるかどうかが決まります。

輸入仕入原価ラインのリンク

購買スケジュールヘッダは単なる情報レベルで、長期間オープンなままのため、輸入仕入原価ラインはスケジュールヘッダではリンクされず、ラインレベルでのみリンクされます。輸入仕入原価を購買スケジュールラインにリンクするには、次のステップが実行されます。

ステップ 1: スケジュールライン輸入仕入原価の検索

スケジュールラインが作成され保存されると、輸入仕入原価セット別シナリオ (tclct1105m100) セッションで、次に基づいて有効輸入仕入原価セットが検索されます。

- [輸入仕入原価の検索日]。輸入仕入原価パラメータ (tclct0100m000) セッションで指定されている場合。
- [使用対象] フィールド。[スケジュール] または [スケジュールおよびオーダライン] に設定されている必要があります。
- スケジュールヘッダと [ライン (検索)] フィールド。輸入仕入原価シナリオの検索属性に一致している必要があります。
- [優先順位]

ステップ 2: 輸入仕入原価をスケジュールラインにリンク

輸入仕入原価セットが見つかり、輸入仕入原価が輸入仕入原価ライン (tclct2100m000) セッションに保存されます。このセッションは、購買スケジュールライン (tdpur3111m000) セッションで購買スケジュールラインにリンクされます。これらのスケジュールラインの輸入仕入原価ラインの [輸入仕入原価ライン発生元] は [マスターデータ] です。輸入仕入原価ラインは、所要量タイプが即時または確定の購買スケジュールラインにのみリンクされます。

注意

次の輸入仕入原価ラインのみを購買スケジュールラインにリンクできます。

- [計算方法] フィールドが [輸送管理] でないライン
- [固定額レベル] フィールドが [入庫ライン] または [適用なし] のライン

輸入仕入原価ラインのメンテナンス

スケジュールラインの [倉庫]、[住所]、または [計画入庫日] が変更されると、新しい輸入仕入原価セットが自動的に検索されます。見つかった場合は、原価ラインが削除され、新しい原価ラインが追加されます。

購買スケジュールラインが取消または削除されると、リンクされた輸入仕入原価も取消または削除されます。

注意

特定の購買スケジュールにリンクされたすべての輸入仕入原価を、スケジュール別輸入仕入原価ライン (tclct2100m400) セッションで表示できます。輸入仕入原価ラインは、マニュアルで更新したり、追加、取消、または削除したりすることはできません。

輸入仕入原価ラインの処理

スケジュールラインの最終入庫が実行され、請求が要求され、ラインが [請求済] 状況になると、納入済購買スケジュールの処理 (tdpur3223m000) セッションで購買スケジュールラインを処理できます。スケジュールラインの実際入庫にリンクされている輸入仕入原価ラインも処理されます。

輸入仕入原価ライン (tclct2100m000) セッションでは、処理済の輸入仕入原価ラインに次のことがあてはまります。

- [処理済] チェックボックスがオンに設定され、入庫履歴が輸入仕入原価ライン履歴 (tclct2550m000) セッションに書き込まれます。
- 買掛金 (ACP) で輸入仕入原価ラインの照合と承認がすでに終了している場合は、[実際購買原価状況の更新] フィールドが [実際原価更新済] に設定されます。それ以外の場合は、買掛金 (ACP) での照合と承認が終了した後に購買スケジュールラインを再処理する必要があります。

輸入仕入原価ライン (tclct2100m000) セッションで [実際購買原価状況の更新] フィールドが [実際原価更新済] で、[請求状況] が [すべて承認済] の場合、輸入仕入原価ラインは完了し、購買スケジュールのアーカイブおよび削除 (tdpur3224m000) セッションで削除できます。

第8章 購買スケジュール入庫

8

輸入仕入原価 – 購買スケジュール入庫

ここでは、輸入仕入原価を購買スケジュールの入庫と組み合わせて使用する方法を説明します。

注意

購買スケジュールの事前出荷通知も使用する場合は、輸入仕入原価 – 事前出荷通知 (ページ 33)を参照してください。

輸入仕入原価を入庫にリンクさせる方法は、品目の入庫を記録する必要のある場所によって異なります。

品目のタイプ	品目の入庫先	入庫のタイプ
非在庫品目	調達	購買入庫
在庫品目	倉庫管理	倉庫入庫

購買受入

非在庫品目を入庫するためには、購買スケジュール - 入庫 (tdpur3115m200) セッションで入庫を作成しておく必要があります。スケジュールラインまたは ASN ラインの輸入仕入原価は、購買スケジュール入庫に自動的にコピーされます。プルおよびプッシュスケジュールの場合、入庫はスケジュールラインレベルでリンクされます。

輸入仕入原価ラインは、購買スケジュール - 入庫 (tdpur3115m200) セッションにリンクされている輸入仕入原価ライン (tclct2100m000) セッションに保存されます。

輸入仕入原価ラインは入庫別輸入仕入原価ライン (tclct2100m100) セッションで追加、変更、取消、および削除できます。入庫と異なり、購買入庫には入庫ヘッダがありません。そのため、入庫ヘッダ基準の固定額は購買入庫には適用されません。マニュアルで追加した輸入仕入原価ラインに固定額が含まれる場合、固定額レベルは [入庫ライン] に設定されている必要があります。

一部入庫の場合は、固定額が各入庫ラインに配分されます。入庫に過不足がある場合は、残額が最終入庫にリンクされます。

例

- スケジュールライン: 20 個

■ 固定額: 10 ユーロ

購買スケジュール入庫	入庫数量	輸入仕入原価額
1	10	5
2	5	2.5
3 (最終)	4	2.5

購買入庫は修正または検査できません。

倉庫入庫

購買スケジュールのタイプと在庫品目の入庫方法によって異なります。

プルスケジュールの入庫

プルスケジュールの入庫はスケジュールラインにリンクされます。

オーダヘッダとオーダライン基準の固定額は、購買スケジュールに適用されません。入庫ヘッダ基準の固定額は入庫ヘッダの作成時に輸入仕入原価マスタデータから取得されます。発生元は、これらの輸入仕入原価ラインの [マスタデータ] です。その他の輸入仕入原価ラインは、購買スケジュールラインから入庫ラインにコピーされます。[輸入仕入原価ライン発生元] は、これらの輸入仕入原価ラインの [スケジュールライン] です。ただし、事前出荷通知が購買スケジュールラインにリンクされている場合は、入庫はこの ASN から生成されます。この場合、入庫ヘッダおよびラインの輸入仕入原価は ASN から取得されます。詳細は、次の情報を参照してください: 輸入仕入原価 - 事前出荷通知 (ページ 33)

入庫が確認されると、輸入仕入原価は入庫ラインから購買スケジュール - 入庫 (tdpur3115m200) セッションにコピーされます。確認後、引き続き、入庫別輸入仕入原価ライン (tclct2100m100) セッションの入庫 (ライン) レベルで輸入仕入原価を追加、変更、取消、または削除できます。これらの変更は、リンクされている購買スケジュール入庫の輸入仕入原価に同期されます。

プッシュスケジュールの入庫

プッシュスケジュールの入庫はスケジュールヘッダにリンクされます。そのため、輸入仕入原価をスケジュールラインから取得することはできません。輸入仕入原価は、入庫ヘッダおよびラインの生成時に、実際入庫日に基づいて、[マスタデータ] から取得されます。ただし、事前出荷通知が購買スケジュールにリンクされている場合は、入庫を ASN から生成できます。この場合、入庫ヘッダおよびラインの輸入仕入原価は ASN から取得されます。詳細は、次の情報を参照してください: 輸入仕入原価 - 事前出荷通知 (ページ 33)

購買スケジュール入庫は再びスケジュールラインレベルでリンクされるため、1つの入庫に複数の購買スケジュール入庫が存在する場合があります。入庫の輸入仕入原価は、入庫数量に基づいて購買スケジュール入庫ラインに分割されます。価格と輸入仕入原価は購買スケジュールから取得されませんが、リンクされた購買契約と輸入仕入原価マスタデータから取得されます。

購買スケジュール入庫ラインは、入庫の確認時に、購買スケジュール - 入庫 (tdpur3115m200) セッションで作成されます。確認後、引き続き、入庫別輸入仕入原価ライン (tclct2100m100) セッションの入庫レベルで輸入仕入原価を追加、変更、取消、または削除できます。

例

購買契約		輸入仕入原価マスタデータ	
品目 X、取引先 Y		品目 X、取引先 Y のシナリオ	
価格改訂	(01-01) 20 ユーロ (単価)	LC1	(01-01) 1 ユーロ (単価)
	(01-07) 25 ユーロ (単価)		(01-07) 2 ユーロ (単価)
-	-	LC2	(01-01) 5%
-	-		(01-07) 10%

品目 X および取引先 Y のプッシュスケジュール				
ライン	日付	数量	価格	金額 (ユーロ)
10	28-06	10	20	200
LC1			1 ユーロ (単価)	10
LC2			5 %	10
20	03-07	10	25	250
LC1			2 ユーロ (単価)	20
LC2			10 %	25

倉庫入庫				
ライン	日付	数量	価格	金額 (ユーロ)

10	30-06	15	20	300
LC1			1 ユーロ (単価)	15
LC2			5 %	15
20	05-07	5	25	125
LC1			2 ユーロ (単価)	10
LC2			10 %	12.50

購買スケジュール入庫

ライン	日付	数量	価格	金額 (ユーロ)
10-1	30-06	10	20	200
LC1			1 ユーロ (単価)	10
LC2			5 %	10
20-1	30-06	5	20	100
LC1			1 ユーロ (単価)	5
LC2			5 %	5
20-2	05-07	5	25	125
LC1			2 ユーロ (単価)	10
LC2			10 %	12.50

注意

購買スケジュール入庫で倉庫検査または訂正後に数量が更新された場合、輸入仕入原価は再決定されます。

入庫後の輸入仕入原価ラインのメンテナンス

入庫別輸入仕入原価ライン (tclct2100m100) セッションを使用して輸入仕入原価ラインをマニュアルで変更、追加、削除、または取り消す作業は、入庫 (ライン) の確認の前でも後でも行うことができます。これは、まだ財務会計に一致していない輸入仕入原価にのみ適用されます。

輸入仕入原価 – 事前出荷通知

ここでは、輸入仕入原価が事前出荷通知との組合せでどのように使用されるかを説明します。

ASN ヘッダ

ASNは、出荷通知 (whinh3600m000) セッションで作成されます。ASN ヘッダに記入できるのは、[計算方法] フィールドが [固定額] に設定され、[固定額レベル] が [出荷通知] または [入庫ヘッダ] に設定されている輸入仕入原価ラインに限られています。

ASNヘッダが作成されると、ASNにリンクされた最初の購買オーダーから固定額がコピーされます。最初の ASN ラインが購買プッシュスケジュールまたは購買プルスケジュールラインにリンクされている場合、購買スケジュールの ASN が作成されると、ASN ヘッダの輸入仕入原価が輸入仕入原価マスターデータから取得されます。輸入仕入原価は、出荷通知ヘッダごとの固定額、または入庫ヘッダごとの固定額のいずれかで、[使用対象] フィールドが [スケジュール] または [スケジュールおよびオーダーライン] に設定された輸入仕入原価に属している必要があります。

輸入仕入原価は、出荷通知 (whinh3600m000) セッションの ASN ヘッダにリンクされている輸入仕入原価ライン (tclct2100m000) セッションに保存されます。

ASN ライン

ASN ラインを作成すると、ヘッダ輸入仕入原価が各ラインに分割されます。ASN ヘッダに記入できるのは、[計算方法] フィールドが [固定額] に設定され、[固定額レベル] が [出荷通知] または [入庫ヘッダ] に設定されている輸入仕入原価ラインに限られています。これにより、ヘッダ輸入仕入原価は常に各 ASN ラインに配分されるため、ラインと同期することができません。詳細は、次の情報を参照してください: 輸入仕入原価 – 固定額 (ページ 37)

配分が終了すると、輸入仕入原価は、出荷通知 - ライン (whinh3101m000) セッションの ASN ラインにリンクされている輸入仕入原価ライン (tclct2100m000) セッションに保存されます。

配分されたヘッダ基準の固定額に加え、次の輸入仕入原価も ASN ラインにリンクされます。

- ASNラインが購買オーダーラインにリンクされている場合は、購買オーダーラインにリンクされているすべての輸入仕入原価ライン。これらの輸入仕入原価ラインの場合、[輸入仕入原価ライン発生元] は [オーダーライン] です。
- ASNラインが購買プルスケジュールラインにリンクされている場合は、購買プルスケジュールラインにリンクされているすべての輸入仕入原価ライン。これらの輸入仕入原価ラインの場合、[輸入仕入原価ライン発生元] は [スケジュールライン] です。

- ASNラインが購買プッシュスケジュールにリンクされている場合、適用可能な輸入仕入原価はマスタデータからコピーされます。これらの輸入仕入原価ラインの場合、[輸入仕入原価ライン発生元] は [マスタデータ] です。

注意

理論的には、複数の購買オーダーまたはスケジュールは、出荷通知によって複数の固定額を保持できます。これらの購買オーダー/スケジュールは同一のASNにリンクできます。ただし、作成される[出荷通知] または [入庫ヘッダ] によって固定額を決定できるのは1つの購買オーダー/スケジュール(ライン) だけです。そのため、ASNにリンクされている最初の購買オーダー/スケジュール(ライン) によって固定額が決まります。その他のオーダー/スケジュールは無視されます。

ASN ヘッダ輸入仕入原価のASNラインへの配分

固定ヘッダ輸入仕入原価のラインへの配分は、次の場合にだけ実行されます。

- マニュアル入力したASNが(再)スケジュールされた
- ASN(改訂)の作成後、ASNがEDIから生成された

配分処理では、直送、プロジェクト入庫、原価品目入庫などの倉庫オーダー以外のASNラインも考慮されます。ただし、入庫オーダーラインにリンクされていない予測外のASNラインは、輸入仕入原価を保持できないため、配分処理ではスキップされます。

EDIを使用したASNの入庫

改訂されたASNメッセージを受信すると、前のASNは状況が[交換済]となり、状況が[計画済]の新しいASNが作成されます。取り消されたASNメッセージを受信すると、ASNの状況は[取消済]になります。

改訂されたASNの場合、輸入仕入原価ラインは次のように処理されます。

- ASNヘッダ輸入仕入原価ライン
以前のASNが取り消された場合を除き、以前のASNヘッダの輸入仕入原価ラインが新しいASN改訂にコピーされます。この方法で、マニュアルで変更または追加した輸入仕入原価が保持されます。
- ASNライン輸入仕入原価ライン
以前のASNラインの輸入仕入原価ラインが新しいASN改訂にコピーされます。数量基準の輸入仕入原価ラインは、EDIメッセージで新たに受け取った数量に基づいて更新されます。
- 以前のASNが取り消され、状況が[計画済]の新しいASNが作成されると、輸入仕入原価ラインは前の取り消されたASNからではなく、関連する発生元からコピーされます。
- 新しいASN改訂に、前のASNには含まれていなかった新しいASNラインが含まれる場合、これらの新しいASNラインの輸入仕入原価は関連する発生元からコピーされます。
- 新しいASN改訂に前のASNには含まれていたASNラインが含まれていない場合、消失したASNラインは再作成されず、リンクされていた輸入仕入原価ラインは失われます。
- ASNヘッダとASNラインがEDIメッセージから作成された後、ヘッダ輸入仕入原価が各ラインに配分されます。

ASNの輸入仕入原価ラインのメンテナンス

出荷通知別輸入仕入原価ライン(tcclct2100m200)セッションを使用して、輸入仕入原価ラインをマニュアルで変更、追加、取消、または削除できます。

輸入仕入原価ラインのメンテナンスができるのは、ASN レベルで次の内容に該当する場合に限ります。

- ASN ヘッダ
どの ASN ラインにも入庫がリンクされていない
- ASN ライン
ASN ラインに入庫がリンクされていない

出荷通知別輸入仕入原価ライン (tclct2100m200) セッションで輸入仕入原価ラインを変更または取り消して、適切なメニューで [すべてに適用] をクリックすると、ラインに加えられた変更は、[輸入仕入原価コード]、[輸入仕入原価タイプ]、および [購買元取引先] の同じ組合せを持つ ASN の他のすべてのラインでも処理されます。新しい輸入仕入原価ラインを追加する場合、この輸入仕入原価ラインを、輸入仕入原価ラインがまだリンクされておらず、そのため、[輸入仕入原価コード]、[タイプ]、および [購買元取引先] の組合せが存在しない他のすべての ASN ラインに自動的に追加できます。

注意

固定額レベルが [出荷通知] または [入庫ヘッダ] のライン輸入仕入原価は、ASN ヘッダレベルでのみ取り消すことができます。

輸入仕入原価 – 固定額

購買処理で輸入仕入原価の固定額が輸入仕入原価 (tclct1610m000) セッションに自動的に記入されるようにする場合は、次の手順を実行します。

- 1. [計算方法] フィールドを [固定額] に設定します。
- 2. [固定額] フィールドに金額を指定します。
- 3. [固定額レベル] フィールドで、固定額が適用される固定額レベルを指定します。
- 4. [固定額レベル] が [オーダーヘッダ]、[出荷通知]、または [入庫ヘッダ] に設定されている場合は、[配分タイプ] フィールドで、固定ヘッダ額を各ラインに配分する方法を指定します。

同期と配分

ヘッダに固定額を含む輸入仕入原価ラインが記入されている場合にヘッダ輸入仕入原価を各ラインに割り振る方法を次に示します。

- 同期
輸入仕入原価ライン (tclct2100m000) セッションで [固定額レベル] が [オーダーライン] または [入庫ライン] に設定されている場合に当てはまります。固定額全額がオーダーまたは入庫の各ラインに適用されます。
- 配分
輸入仕入原価ライン (tclct2100m000) セッションで、[固定額レベル] が [オーダーヘッダ]、[出荷通知]、または [入庫ヘッダ] に設定されている場合に当てはまります。配分タイプ ([金額]、[重量]、[容積]、[数量]、または [ライン] のいずれか) によって、固定ヘッダ原価を各ラインに配分する方法が決まります。

例

オーダーヘッダに 10 ユーロの固定額が記入されているとします。

同期		
固定額レベル	配分タイプ	オーダーライン上の固定額

[オーダーライン]	[適用なし]	オーダーライン 1 - 10 ユーロ
[オーダーライン]	[適用なし]	オーダーライン 2 - 10 ユーロ

配分

固定額レベル	配分タイプ	オーダーライン上の固定額
[オーダーヘッダ]	[ライン]	オーダーライン 1 - 5 ユーロ
[オーダーヘッダ]	[ライン]	オーダーライン 2 - 5 ユーロ

配分

ラインを配分処理と再配分処理に含めることができるのは、次の内容に該当する場合に限ります。

- オーダーライン
ラインに入庫または ASN がまだリンクされていない
- 入庫ライン
入庫に関して入庫ラインがまだ確認されていない

入庫または ASN がオーダーラインにリンクされている場合または入庫ラインが確認されている場合は、輸入仕入原価ラインが凍結されます。

オーダーライン

オーダーラインの追加、削除、または取消を行うと、各オーダーラインの固定輸入仕入原価額が再計算されます。

例

- オーダーヘッダ固定額: 10 ユーロ
- [固定額レベル]: [オーダーヘッダ]
- [配分タイプ]: [ライン]

オーダーライン	輸入仕入原価額
1	5
2	5
オーダーライン 2 の取消	
1	10
2	0
オーダーライン 3 の追加	
1	5
2	0
3	5
オーダーライン 1 の入庫およびオーダーライン 4 の追加	
1 (確認済)	5
2	0
3	2.5
4	2.5

オーダー入庫

オーダーラインに対して入庫が作成されると、そのオーダーラインの輸入仕入原価が入庫にコピーされます。一部入庫の場合は、固定額が各入庫ラインに配分されます。オーダ数量よりも入庫数量の方が少ない/多い場合は、固定額の残りの金額が最終入庫にリンクされます。

例

- オーダーライン: 20 個
- 固定額: 10 ユーロ

オーダー入庫	入庫数量	輸入仕入原価額
1	10	5
2	5	2.5
3 (最終)	4	2.5

オーダー入庫修正

購買入庫の修正 (tdpur4106s100) または入庫訂正 (whinh3121s000) セッションで入庫を修正する場合、入庫数量を修正しても固定額は再配分されません。財務会計での請求書の照合中に輸入仕入原価が調整されます。固定額が各入庫ラインに再配分されるのは、入庫が非最終から最終に、または最終から非最終に変更された場合に限りです。

注意

[固定額レベル] が [入庫ライン] に設定されている輸入仕入原価ラインを除いて、訂正によって個数当たりの輸入仕入原価額が変更されると、輸入仕入原価ラインに対して在庫差異記帳が作成されます。このことは、在庫処分が適用されない場合に不合格処理で更新された輸入仕入原価ラインにもあてはまります。この場合は、不合格となった入庫ラインにリンクされている輸入仕入原価ラインの数量を更新すると、在庫差異の作成が実行されます。

例

- オーダライン: 20 個
- 固定額: 10 ユーロ

オーダー入庫	入庫数量	輸入仕入原価額
1	12	6
2 (最終)	6	4
数量の変更 (入庫 2)		
1	12	6
2 (最終)	8	4
数量の変更 (入庫 2)		
1	12	6
2 (最終)	4	4
非最終への変更 (入庫 2)		
1	12	6
2	4	3

注意

- 入庫 (在庫品目) とは対照的に、購買入庫 (非在庫品目) には入庫ヘッダがありません。このため、[入庫ヘッダ] に基づく固定額が各購買入庫に配分されません。
- [固定額レベル] が [入庫ヘッダ] または [出荷通知] に設定されており、在庫品目の場合は、最初に固定額がオーダーラインに配分されます。この処理の目的は、会計 (オーダー上の) 取引を作成し、ヘッダに基づく輸入仕入原価を把握することです。ASN ヘッダが作成されると、特定の ASN にリンクされている最初の購買オーダーから固定額がコピーされます。この後で、金額が各 ASN ラインに配分されます。入庫ヘッダが作成されると、特定の入庫にリンクされた最初の購買オーダー、倉庫移動オーダー、または事前出荷通知 ([固定額レベル] が [入庫ヘッダ] として指定されている) から固定額がコピーされます、この後で、金額が各入庫ラインに配分されます。

購買スケジュールの固定額

- オーダーヘッダとオーダーライン基準の固定額は、購買スケジュールに適用されません。
- 入庫ヘッダ基準の固定額は、購買スケジュールの非在庫品目の入庫時には適用されません。
- 入庫ヘッダ基準の固定額は、購買スケジュールの在庫品目の入庫時に、輸入仕入原価マスターデータから取得されるか、または ASN が購買スケジュールにリンクされている場合はリンクされた事前出荷通知から取得されます。

詳細は、次の情報を参照してください:

- 輸入仕入原価 - 購買スケジュール入庫 (ページ 27)
- 輸入仕入原価 - 事前出荷通知 (ページ 33)

輸入仕入原価 – 請求書の照合

輸入仕入原価ラインは購買オーダーラインに追加したり変更したりできるので、買掛金では [購買入庫と照合] が適切な照合方法となります。

輸入仕入原価のみが記載されている請求書を入力するには、[輸入仕入原価関連請求書] 請求タイプを選択する必要があります。

混合請求書を受け取った場合、この請求書は [購買オーダー関連請求書] 請求タイプを使用して入力する必要があります。最初に購買オーダーをオーダー、入庫、または消費 (委託の場合) と照合し、その後、輸入仕入原価を輸入仕入原価入庫ラインと照合することができます。この照合手順は購買オーダー部分にのみ適用できますが、輸入仕入原価の部分には適用できません。これは、輸入仕入原価は入庫ラインレベルでの照合にしか使用できないからです。

倉庫移動からの請求は、[輸入仕入原価関連請求書] 請求タイプでしか入力できません。

注意

- 購買輸入仕入原価ラインがすでに照合済の場合でも、請求タイプを [輸入仕入原価関連請求書] から [購買オーダー関連請求書] に変更できます。倉庫移動の輸入仕入原価ラインを照合すると、請求タイプの変更はできなくなります。
- その他の数量基準の照合処理とは対照的に、輸入仕入原価の照合処理は全体を通して金額基準です。
- 購買または倉庫移動オーダーラインに輸入仕入原価ラインがリンクされていて、輸入仕入原価ラインの [計算方法] が [輸送管理] の場合、運送業者請求書は輸入仕入原価ラインに対してではなく、輸送オーダーラインに対して照合および承認されます。輸入仕入原価ライン (tclct2100m000) セッションでは、このような輸入仕入原価ラインに対して [輸送管理請求書] チェックボックスがオンになります。

登録済の輸入仕入原価ラインとの照合

輸入仕入原価ラインの照合 (tfacp2144m000) セッションでは、1 つ以上のラインを選択して照合することができます。単一の輸入仕入原価ラインを選択した場合は、輸入仕入原価ラインの部分照合または価格差額 (tfacp2254s000) セッションを開始できます。このセッションでは、請求書および輸入仕入原価額のどの部分を、選択した輸入仕入原価ラインと照合するかを選択できます。

請求書の請求元取引先は、輸入仕入原価ラインの取引先を照合する必要があります。照合セッションではオーダー、梱包票、および取引先を変更できるので、まったく別の取引先から発生したオーダーを照合できます。これを実行できるのは、買掛金パラメータ (tfacp0100m000) セッションで [取引先関係必須] チェックボックスがオフの場合だけです。

輸入仕入原価が混合請求書の一部となっている場合、この輸入仕入原価ラインは恐らく (照合済または未照合の) 入庫ラインの一部です。この場合、これらの輸入仕入原価ラインの照合は必須ではなく、LN で警告が表示されることはありません。

未登録の輸入仕入原価ラインとの照合

調達または倉庫管理で定義されていない原価に対して、輸入仕入原価を登録し、請求書上で指定することができます。輸入仕入原価ラインは、[輸入仕入原価ラインの変更] コマンドを使用していつでも変更および追加を行うことができます。このコマンドで入庫別輸入仕入原価ライン (tclct2100m100) セッションが開始されます。照合セッションで選択したラインに入庫が存在する場合は、この入庫が渡されます。

注意

倉庫または購買担当の従業員にこれらの輸入仕入原価を作成させたり、輸入仕入原価が記載された請求書の照合および承認はしないことを決定したりすることもできますが、この請求書は追加コストとして処理します。

自動照合

[輸入仕入原価関連請求書] として登録された請求書は、次に該当する場合は自動的に照合されます。

- 買掛金パラメータ (tfacp0100m000) セッションで [自動照合] が選択されている
- 梱包票番号またはオーダ番号の両方またはいずれかが入力されている

自動照合は次のレベルで実行できます。

- [購買オーダと照合]
- [購買入庫と照合]
- [購買消費と照合]

注意

自動照合処理には、次の内容が該当します。

- 購買オーダおよび倉庫オーダのビジネスオブジェクトが検索され、照合されます。
- 輸入仕入原価が最下位レベル、つまり入庫レベルでしか照合できない場合でも、混合請求書はすべてのレベルで照合できます。
- 完全一致しない輸入仕入原価のみが考慮されます。そのため、自動照合処理を再開することはできません。
- 特定の購買オーダに関連付けられた輸入仕入原価には、複数の請求元取引先を含めることができるので、請求書の1つとまったく同じ請求元取引先が含まれる輸入仕入原価の入庫ラインのみが選択されます。

価格差額

照合中に、請求書ヘッダレベルで価格差額が計算されます。

価格差額が不正確にならないように、LN で次を実行できます。

- 輸入仕入原価ラインに対して「照合済の請求額」を維持する
- 輸入仕入原価ライン金額のうち、照合中の請求書に属する部分を選択する

適切なメニュー

コマンドは、[表示]、[参照]、および [アクション] メニューに分散されているか、ボタンとして表示されます。旧リリースの LN および Web UI では、これらのコマンドは [特定] メニューに配置されます。

同期

ヘッダの 輸入仕入原価 を関連ラインにコピーします。

混合請求書

支払期日が異なるラインを含む請求書

同義語: 結合請求書

結合請求書

次を参照してください: 混合請求書 (ページ 45)

計画

次を参照してください: 積荷計画 (ページ 47)

購買オーダー

特定の条件に基づいて、どの品目が購買元取引先から納入されるかを示す契約

購買オーダーには次のものが含まれます。

- 一般的なオーダーデータ、購買元取引先データ、支払条件、および受渡条件を記載したヘッダ
- 実際に納入される品目についての詳しい情報を記載した、1つまたは複数のオーダーライン

購買スケジュール

資材の計画供給のタイムテーブル。購買スケジュールは、頻繁に納入される長期の購買をサポートし、通常、購買契約によって支援されます。品目、購買元取引先、出荷元取引先、購買オフィス、および倉庫が同じである要求はすべて、1つのスケジュールに保存されます。

統合

異なるソースに由来するいくつかの購買オーダーを、1つの購買オーダーにグループ化すること。統合によって購買オーダーの数が減り、利用可能な最善の価格および値引を得ることができます。

輸送オーダー

特定の数の商品を輸送するための命令。輸送オーダーは、1つのオーダーヘッダと1つまたは複数のオーダーラインから構成されます。

輸送オーダーヘッダには、輸送オーダーにリストされている商品の納期、およびこの商品を受領する顧客の名前と住所など、一般情報が含まれます。

輸送オーダーラインには、輸送する品目の他に、この品目に関する明細 (数量や寸法など) が含まれます。

追加コスト

請求元取引先によって課される追加のコスト。追加コストは、請求額とオーダー金額または商品回収額との間の差異を生じます。追加コストの例としては、保管費、輸送費、保険費などがあります。

所要量タイプ

期限内の所要量を表す所要量タイプは3つあり、スケジュールに使用されます。

利用可能な所要量タイプは次のとおりです。

- [即時]
- [確定]
- [計画済]

非参照スケジュールの場合、所要量タイプはセグメントにリンクされます。

プル予測スケジュールの場合、所要量タイプは常に [計画済] または [即時] です。プルコールオフスケジュールの場合、所要量タイプは常に [確定] です。

事前出荷通知

出荷が送付済であることを知らせる通知。事前出荷通知は、電子データ交換を利用して送受信されます。倉庫に商品が到着することを知らせる事前出荷通知を発注先から受け取ることがあったり、発注した商品がまもなく納入されることを知らせる事前出荷通知を顧客に送信したりすることができます。

同義語: 出荷通知

略字: 事前出荷通知

事前出荷通知

次を参照してください: 事前出荷通知 (ページ 46)

出荷通知

次を参照してください: 事前出荷通知 (ページ 46)

バックオーダー

顧客オーダー不足分、または後日に納入される部分。品目に対する需要で、在庫が不十分であるため需要を満足できないもの

承認ルール

購買元取引先、購買担当、計画者、発効日、有効期限、金額といったデータ要素の組合せ。この組合せに基づいて購買オーダーが承認されます。承認ルールは、受入ルールまたは例外ルールを基準にします。

輸入仕入原価

納入および倉庫への入庫までの品目の調達に関連付けされたすべての原価の合計。輸入仕入原価には、通常輸送費、保険費用、関税、および処理費用が含まれます。

輸入仕入原価は複数の輸入仕入原価セットの一部とすることができます。

見積依頼回答

見積依頼への回答。入札が記載された 1 つ以上の回答ラインを含んでいます。入札では商品またはサービスが特定の価格および販売条件で提供され、販売申込と見なすことができます。

積荷計画

1 つまたは複数の輸送オーダーに対して作成されている出荷および積荷の構造の ID。出荷および積荷は、輸送計画が生成されている輸送オーダーについて、計画積込日や計画荷降日、積荷住所や荷降住所などの輸送計画明細を示します。積荷構築エンジンを使用して、積荷計画を作成できます。輸送オーダーの範囲を選択し、積荷構築エンジンを起動すると、輸送オーダーが出荷および積荷にグループ化されます。この出荷および積荷が積荷計画を構成します。また、マニュアルでも積荷計画を作成できます。

同義語: 計画

実際の輸送費

ユーザにより積荷または輸送オーダークラスタについて [実際原価確定] と設定された見積輸送費、または特定の商品の輸送を実行するために運送業者により出荷オフィスに請求された実際の金額

見積輸送費

出荷、積荷、または輸送オーダークラスタに対する輸送の見積原価。LN は、積荷構築または輸送オーダークラスタの中で、見積輸送費を計算します。価格設定から取得されたレート、出荷元住所と出荷先住所から取得された輸送距離、および輸送される商品の合計数量に基づいて、見積輸送費が算出されます。見積原価は、ユーザがマニュアルで入力することもできます。

運送業者レート帳

運送業者に対して運送協定をメンテナンスできる輸送レート帳

輸送オーダクラスタ

輸送オーダクラスタは、運送業者に外注される出荷オフィス、計画グループ、重複するタイムウィンドウ、輸送手段グループなど、同じプロパティを持つ輸送オーダラインのグループです。運送業者は、外注オーダに従って、輸送オーダラインにリストされている商品の輸送を計画および実行します。

プッシュスケジュール

発注先に送付されるタイムフェーズ要件のリストで、企業計画やプロジェクトなどの中央計画システムによって生成されます。プッシュスケジュールには、長期の予測と短期の実際オーダの両方が含まれています。

プッシュスケジュールは、次の発行タイプのいずれかを使用できます。

- [資材発行]: 資材発行のみが送付されます。出荷は、資材発行の [確定] 所要量および [即時] 所要量に基づいて実行されます。
- [出荷スケジュール]: 資材発行および出荷スケジュールの両方が送付されます。出荷は、出荷スケジュールの [確定] および [即時] 所要量に基づいて実行されます。資材発行は予測データを送付するだけです。
- [出荷スケジュールのみ]: 出荷スケジュールのみが送付されます。出荷は、出荷スケジュールの [確定] および [即時] 所要量に基づいて実行されます。予測データは発注者に送付されません。

輸入仕入原価タイプ

輸入仕入原価のユーザが定義するカテゴリ。たとえば、「輸送」、「処理」、「保険」など

輸入仕入原価分類

ユーザがロジスティック処理を特定の輸入仕入原価セットにリンクできる属性。その取引の輸入仕入原価設定より優先されます。必要な場合、ユーザは輸入仕入原価分類を指定し、取引でこの分類を使用できます。

輸入仕入原価セット

オーダでデフォルト値がグループとなる他の輸入仕入原価ラインの 1 つ

輸入仕入原価セットには、輸入仕入原価ラインを取引にリンクする検索属性が含まれます。

輸入仕入原価シナリオ

ロジスティック処理の輸入仕入原価を決定するために使用される条件のセット。各シナリオは、輸入仕入原価セットにリンクされます。

配分

ヘッダの固定輸入仕入原価額を、関連ラインの一部金額に分割します。

見積依頼 (RFQ)

(いくつかの) 製品の納入について、入札者に条件 (価格、値引、納入時間、および支払条件など) の提出を要求するために使用する購買伝票

見積依頼は複数の入札者に送付することができます。入札者は、指定品目の見積依頼回答を提出できます。

回答の記録、交渉、およびさまざまな入札者から提示された価格と値引の比較を行うことができます。

受け入れられた回答は、契約、オーダー、価格帳にコピーできます。

確定所要量

実際のオーダーとして処理され、出荷することができる所要量

即時所要量

できるだけ早く出荷する必要がある所要量

プルスケジュール

プルスケジュールには次の 2 種類があります。

- プル予測スケジュール
タイムフェーズ計画済製造所要量のリストであり、企業計画で生成されて発注先に送付されます。プル予測スケジュールは、予測のためだけに使用されます。実際に品目をオーダーするには、プルコールオフスケジュールを生成する必要があります。
- プルコールオフスケジュール
購買品目の時系列の特定所要量のリストであり、組立管理、または倉庫管理 (カンバン、時系列オーダーポイント) からトリガされます。

回答ライン

見積依頼ラインへの回答であり、その見積依頼ラインへの入札者の入札が含まれています。入札では商品またはサービスが特定の価格および販売条件で提供され、販売申込と見なすことができます。

見積依頼入札者

入札者 (購買元取引先) に対する商品およびサービスの提供依頼

見積依頼交渉

交渉人と入札者との間での回答ラインに関する交渉を含みます。入札者の回答 (入札)、および入札に対する購買担当からの対案があります。

在庫差異

商品の入庫後に記録された評価額と、この特定の入庫に応じて更新された値との差

在庫差異は次の場合に作成されます。

- 入庫確認後に入庫価格が変更された場合
- 請求価格が入庫価格と異なる場合
- 製造オーダーがクローズされ、実際原価が見積原価と異なる場合

転送オーダー

出庫倉庫から移送先倉庫への在庫処理、または倉庫内の 2 つの場所間での在庫処理を登録するために作成される倉庫オーダーのタイプ。転送オーダーは、マニュアルで作成することも、LN の他のパッケージやモジュールによって生成することもできます。転送オーダーの処理タイプは [転送] です。

同義語: 倉庫移動、倉庫移動オーダー

倉庫移動、倉庫移動オーダー

次を参照してください: 転送オーダー (ページ 50)

索引

設定

 輸入仕入原価, 9

概要

 輸入仕入原価, 7

適切なメニュー, 45

同期, 45

混合請求書, 45

結合請求書, 45

計画, 47

購買オーダー, 45

購買スケジュール, 45

統合, 46

入庫

 輸入仕入原価, 19

輸送オーダー, 46

 輸入仕入原価, 23

追加コスト, 46

所要量タイプ, 46

事前出荷通知, 46

出荷通知, 46

バックオーダー, 47

承認ルール, 47

輸入仕入原価, 47

 ASN, 33

 オーダー, 15

 スケジュール, 25

 概要, 7

 見積依頼, 11

 固定額, 37

 購買オーダー, 15

 購買スケジュール, 25

 購買スケジュール入庫, 27

 事前出荷通知, 33

 請求書の照合, 43

 設定, 9

 倉庫移動オーダー, 15

 入庫, 19

 輸送オーダー, 23

見積依頼

 輸入仕入原価, 11

見積依頼回答, 47

積荷計画, 47

実際の輸送費, 47

見積輸送費, 47

運送業者レート帳, 47

輸送オーダークラス, 48

プッシュスケジュール, 48

購買スケジュール入庫

 輸入仕入原価, 27

請求書の照合

 輸入仕入原価, 43

輸入仕入原価タイプ, 48

輸入仕入原価分類, 48

輸入仕入原価セット, 48

輸入仕入原価シナリオ, 48

配分, 48

見積依頼 (RFQ), 49

確定所要量, 49

即時所要量, 49

プルスケジュール, 49

回答ライン, 49

見積依頼入札者, 49

見積依頼交渉, 49

在庫差異, 50

転送オーダー, 50

倉庫移動、倉庫移動オーダー, 50
